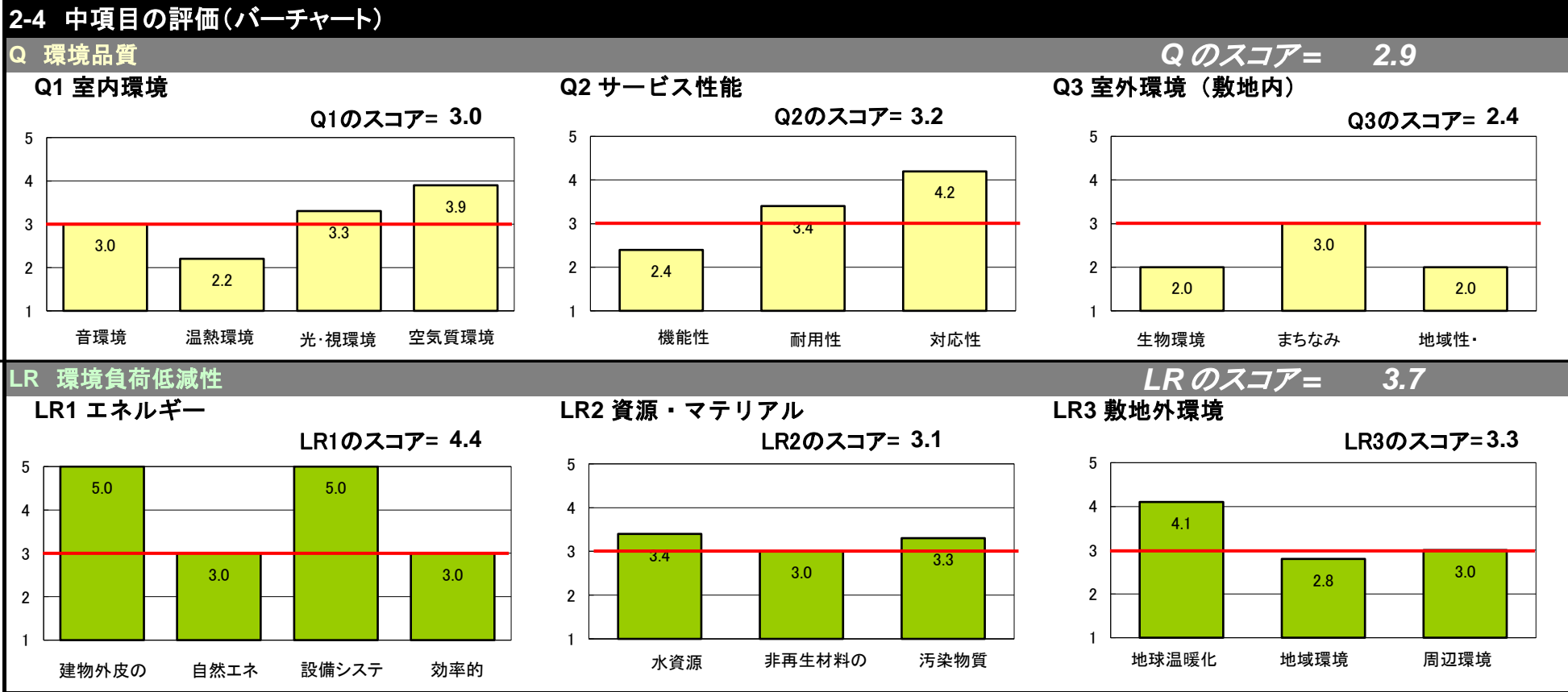
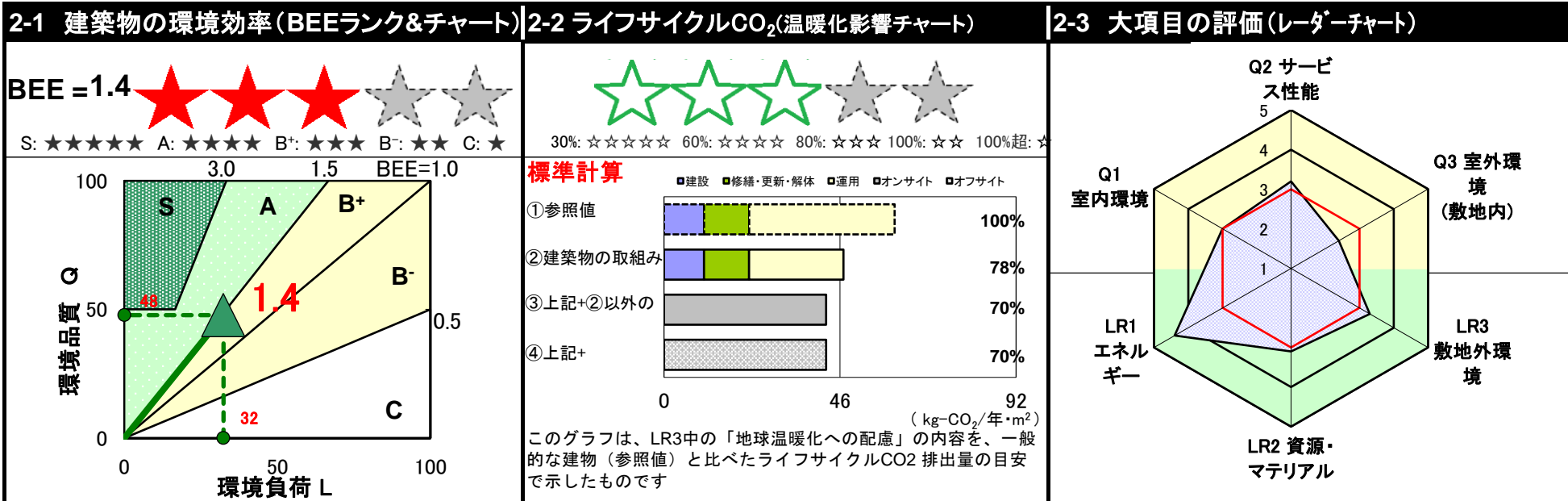


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相生市看護専門学校建設工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県相生市旭二丁目95番1の一部	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年8月01日
敷地面積	4,709 m ²	作成者	小西 龍機
建築面積	1,456 m ²	確認日	2023年08月03日
延床面積	2,566 m ²	確認者	谷口 芳紀



3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 2.5%≦[昼光率] 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 給水HIVP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。 0.1≦[壁長さ比率] <0.3	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.53。 [BEI][BEI _m] = 0.53。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率70%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される